

中期事業計画

(平成29年度～平成33年度)

平成29年4月

公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター

はじめに

公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、公益社団法人として5年が経過し、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進や社会参加の推進を図り、活力ある地域社会づくりに取り組んでまいりました。

現在の高齢化の社会では、高齢者が生きがいを持って、地域社会に参加できる仕組みづくりが一段と重要になっています。そのような中で、茅ヶ崎市の重要施策である「セカンドライフのプラットフォーム事業」を受託し、シニアの方たちが活動の場を模索するための「生涯現役応援窓口」の運営や「セカンドライフを考えるセミナー」を実施するとともに、各種事業を実施し、高齢者の就業の場の確保と利用者へのサービス向上に努めてまいりました。併せて、会員の事故防止や安全就業のため、安全・適正就業の徹底を図ってまいりました。また、就業機会の確保のため、労働者派遣事業にも積極的に取り組み、着実に拡大をしてきております。

昨今、ますます進む高齢化の中で、定年延長など高齢者の働く環境や制度が変化してきております。

このようなことから、センターが担う役割を果たし、「生涯現役社会」の実現を目指して、これからの取り組むべき課題や事業目標を整理し、平成29年度からの5年間の事業計画を策定いたしました。

本計画の目標達成に向け、お客様に対するサービス向上に重点を置くとともに、会員・役員・職員一丸となって、地域に根ざした身近なセンターを目指して全力で取り組んでまいります。

茅ヶ崎市をはじめとする関係機関等の皆様には、引き続きご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成29年4月

公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター
理事長 田中 敏博

目 次

1	中期事業計画の概要	1
	(1) 計画の目的	1
	(2) 計画の期間	1
2	平成24年度から平成28年度までの中期事業計画の総括	1
3	中期事業計画（平成29年度～平成33年度）に向けた課題	1
4	茅ヶ崎市シルバー人材センター年度別実績（平成24年度～平成28年度）	2
	(1) 事業別実績について	3
	ア 受託事業	3
	イ 指定管理事業	3
	ウ 労働者派遣事業	3
	エ 職業紹介事業	4
	(2) 会員について	4
	ア 会員数	4
	イ 粗入会率と茅ヶ崎市の人口	4
	ウ 会員平均年齢	4
	エ 希望職群別会員数	4
	オ 会員の入会動機	4
	(3) 事故件数の状況	5
	(4) 未就業アンケートの結果	5
	(5) 発注者へのアンケートの結果	5
	(6) (1) から (5) までのグラフ	6
5	目標と具体的取組	12
	(1) 就業機会の拡大・提供	12
	ア 目標（総括）	12
	(ア) 受託事業	12
	(イ) 指定管理事業	12
	(ウ) 労働者派遣事業	12
	(エ) 職業紹介事業	13
	(オ) 自主事業	13
	イ 具体的な活動	13
	(2) 会員確保の促進	14
	ア 目標（総括）	14
	イ 具体的な活動	15
	(3) 安全・適正就業の徹底	15
	ア 目標（総括）	15
	イ 具体的な活動	16
	(4) 技能及び質の向上	16
	ア 目標（総括）	16

イ 具体的な活動	-----	16
(5) 会員相互の連携	-----	16
ア 目標（総括）	-----	16
イ 具体的な活動	-----	17
(6) 社会参加活動の推進	-----	17
ア 目標（総括）	-----	17
イ 具体的な活動	-----	17
(7) 組織の活性化、強化及び改善	-----	17
ア 目標（総括）	-----	17
(ア) 事務局体制	-----	17
(イ) 委員会の体制	-----	18
(ウ) 法令順守	-----	18
(エ) 会員組織	-----	18
(オ) 記念事業	-----	18
(カ) 表彰制度	-----	18
イ 具体的な活動	-----	18
(ア) 事務局体制	-----	18
(イ) 委員会の体制	-----	19
(ウ) 法令順守	-----	19
(エ) 会員組織	-----	19
(オ) 記念事業	-----	19
(カ) 表彰制度	-----	19
(8) 財政基盤の確立	-----	20
ア 目標（総括）	-----	20
イ 具体的な活動	-----	20

1 中期事業計画の概要

(1) 計画の目的

前中期事業計画（平成24年度から平成28年度まで）においては、公益社団法人の認定を受け、社会参加の意欲のある健康な高齢者のために、就業等の活動機会を提供することで、生きがいの充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を活かした活力ある地域づくりに寄与することを目的とし、茅ヶ崎市地域福祉計画における「生きがいつくり、健康づくり」等にも貢献する事業に取り組むこととしておりました。

今回の計画では、さらに高齢化が進み、国庫補助金等の見直しなど厳しい社会環境の中で、就業機会の拡大・提供や会員確保の促進、安全・適正就業の徹底など8項目の基本目標を掲げ、センターの役割を認識し、事業を着実に推進することを目的としております。

また、茅ヶ崎市の豊かな長寿社会に向けたまちづくりの取組みとして、引き続き高齢期における社会参加の仕組みづくり事業にも貢献していくこととします。

(2) 計画の期間

平成29年度から平成33年度までの5年間とし、必要に応じて計画の修正を行うこととします。

2 平成24年度から平成28年度までの中期事業計画の総括

本計画は、財団法人茅ヶ崎市都市施設公社と事業統合し、公益社団法人の認定を受け、新たな組織としてスタートした年に策定されました。

茅ヶ崎市より自転車・自動車駐車場の指定管理事業者としての指定を受け、高齢者の就業の場の確保と利用者へのサービス向上にさらに努めることとなりました。一方で、ギリシャの財政危機をはじめとする世界経済の減速等で、景気が停滞する中で、センターの事業においても委託契約の打ち切りや適正就業の推進などで事業実績は若干減少し、会員数も減少しました。また、就業以外での地域社会貢献と社会参加を目的としたボランティア活動を展開することになりました。

こうした状況を踏まえ、目的を達成するため、課題となっていた就業機会の拡大、自主活動の推進、会員確保の推進など10項目について計画を策定いたしました。

全体として、会員の安全・適正就業の観点から、安全・適正就業作業ガイドラインを策定し、高所作業をはじめとする危険を伴う就業において、安全確保を目的に会員への周知徹底と技能講習会を開催するなど、安全に対する強化を図り、事故の減少に努めました。また、就業機会の拡大においては、茅ヶ崎市から受託したセカンドライフのプラットフォーム事業に関連して、就業開拓を担う嘱託職員を雇用し、新たな就業先の確保と就業の適正化により派遣事業の実績に繋がりました。就業を担う会員の確保においては、PR活動や入会説明会の拡大などを図り、一時減少傾向だった会員数も1,000人を超えることができました。会員の就業率は、可能な限り複数名によるワークシェアリングや、一定期間での交代に配慮しましたが、横ばいの状況で80%前後を推移しました。

3 中期事業計画（平成29年度～平成33年度）に向けた課題

現在は、高齢化の中で働く意欲がある高齢者が増加し、会員数も増加傾向にあります。しかしながら、就業率は80%前後を推移しており、より多くの方に就業していただくためには、公共事業

に係る受託件数も減少していることもあり、今後、民間企業や個人家庭など、さらなる就業先の確保が必要となります。さらに、「働き方改革」などによる定年延長、雇用継続など高齢者の活用が行われることや高齢者の生きがいの活躍の場が多様化する中で、センターの役割は、重要性を増しています。また、安全及び適正就業については、継続して強化していくことが求められます。

こうした中で、「就業機会を確保し、提供することで、生きがいの充実及び福祉の増進を図るとともに高齢者の能力を活かした活力ある地域づくりに寄与する」というセンターの目的を達成するためにも、就業していただく会員の生きがいづくりや組織としての社会貢献活動も含め魅力あるセンターとすることが求められます。さらには、茅ヶ崎市の豊かな長寿社会のまちづくりに連携できる事業の取り組みを進めていくことも必要です。

4 茅ヶ崎市シルバー人材センター年度別実績（平成24年度～平成28年度）

過去5年間の各事業の契約金額などの事業の実績、会員数、会員の平均年齢などの状況を示します。これらの資料を参考に、3の次期中期事業計画に向けた課題を解決するため、5において、今後5年間の目標と具体的取組を示すこととします。